

令和5年度

学校関係者評価 報告書

令和5年3月29日

鹿児島医療工学専門学校

1. 学校関係者評価委員会

委員

岡村 龍也 委員長 (社会医療法人白光会白石病院 透析室統括部長)
篠原 豪 委員 (鹿児島純心高等学校 教諭)
中野 美紀 委員 (本校在校生保護者)
津村 勇気 委員 (本校卒業生 現在医療法人玉昌会
キラメキテラスヘルスケアホスピタル臨床工学技士)

学校

岩井田早紀 (臨床工学学科教員)
上ノ園亮平 (事務課職員)
寺地日和 (事務課職員) (計7名)

事務局

上ノ園亮平 (事務課職員)

2. 学校関係者評価の実施方法から公表まで

学校関係者評価の実施は会議形式で行い、各項目ごとの採点、総合的な評価、意見をいただき、とりまとめ集計を行い今後の教育活動や学校運営の改善に活かし、教育の向上に努めることとし、ホームページに公表を行う。

3. 学校評価書面開催の日程

- 令和5年3月10日 学校関係者評価委員会開催
- 令和5年3月29日 集計・公表

各項目ごとの採点結果(評価段階1～5)

①教育理念・目的・人材育成像	3.0
②学校運営	4.0
③教育活動	3.6
④学修成果	4.0
⑤学習支援	3.2
⑥教育環境	5.0
⑦学生募集と受入れ募集	4.0
⑧財務	3.8
⑨法令等の遵守	4.8
⑩社会貢献・地域貢献	3.0
⑪総括	4.0

目 次

- ①教育理念・目的・人材育成像
- ②学校運営
- ③教育活動
- ④学修成果
- ⑤学習支援
- ⑥教育環境
- ⑦学生募集と受入れ募集
- ⑧財務
- ⑨法令等の遵守
- ⑩社会貢献・地域貢献
- ⑪総括

* 本評価書における評定について

- 評価については、以下のような設定で自己評価をする
- 5：最良 非常に適切な対応をしている
 - 4：適切 適切な対応をしている
 - 3： ほぼ適切 適切に対応しているが課題もあり、改善の取り組みが期待される
 - 2：やや不適切 やや対応が不十分であり、課題の抽出と改善に取り組んでいく必要がある
 - 1： 不適切 対応が全くできていない
 - NA： 該当なしまたは未実施

	学校関係者評価委員会
A	医療従事者(臨床工学技士)
B	教育関係者(高等学校教諭)
C	在校生保護者
D	卒業生(臨床工学技士)

学校関係者評価委員会の総合評価・総括

○鹿児島医療工学専門学校重点項目に対する評価

①目標資格合格率100%

第2種ME合格率3年生100%を目指すために個別面談・指導の強化に期待したい。
先生方が粘り強く指導されていることがうかがえる。
検定試験対策や国家試験対策が取られていて良いと思う。

②就職内定率100%

就職内定率100%を目指して、県内外の病院や企業との連携強化を引き続き図っていく必要がある。
病院等との連携により就職しやすい状況があれば、安心して学習にも取り組めるのではないかと考える。
就職する上での学生たちの心配事や不安要素になっていることの相談の機会を増やすことで就職後の退職率も減り、卒業生からの意見も聞けるようになると思う。

③欠席遅刻者、退学者、留年者の減少

学生への面談を積極的に行っていると思う。中途退学者数の減少のために今後も引き続き、退学理由の分析などが必要だと考える。
社会人としてのルールやマナーの指導も必要である。
面談やホームルームなどフォローの体制は概ねできている。
挨拶は社会的にも基本的なマナーになるので、今後も徹底して指導して欲しい。

④定員充足

ホームページやSNSを活用し、積極的な広報を行っている。
技士会など関係団体と連携し、PR活動するとより効果的と思われる。
臨床検査学科の設置は九州南部では初とのことなので、入学者の増加に期待したい。
臨床検査学科の設立に注目したい。

⑤学校行事の開催及び新設

社会的貢献の為に、積極的なボランティア活動が必要である。
学生が楽しめる行事も増えていて良いと思う。
少ない学校行事ではあるが、子供たちも楽しんでいるように感じる。今、社会の中で重要視されているのがコミュニケーション能力であり、ボランティア活動はいろいろな方と触れ合う絶好の機会なので、ぜひ学校側も取り組んでほしい。
学外実習は素晴らしい試みだと思った。